

企業の“リアル”な課題を解決

福山商業高校では、生徒の興味・関心を活かし、生徒自ら進んで取り組む授業を展開するために、教員と企業の方が会議を重ねながら、授業づくりを行っています。

現在、3学年の生徒を対象に商業科目「課題研究」（週3時間）と「総合的な探究の時間」（週1時間）の計4時間を使って、探究的な学びに取り組んでいます。

4月から6月は、アトラッカ株代表取締役 橋本 紀彦 様の御協力のもと、実際の企業ではどんな課題をどのように解決しているのか、事前学習を行いました。7月から11月は、本格的に探究活動を行っていきます。探究テーマを「企業のリアルな課題解決」と設定し、橋本様をはじめとする7社の企業の方々が御協力してくださることとなりました。

この探究の成果は、令和6年1月17日（水）（予定）「第2回学習成果発表会」で御報告いたします。

まずは、7月19日（水）に本校へ協力企業をお招きし、事業内容や企業の課題について、生徒がヒアリング調査を行います。生徒が企業の課題に対して、真剣に向き合い、目を輝かせながら企業の方々と話し合う姿を是非取材してください。

■福山商業高等学校 「企業へのヒアリング調査」概要

【実施日時】 7月19日（水）9：55～11:45

【場 所】 広島県立福山商業高等学校 2号館4階 視聴覚教室

【来校企業】 アトラッカ株式会社

社会福祉法人春海会

（予定） 有限会社池口精肉店

株式会社エフテックス

順不同・敬称略

占部水産株式会社

株式会社小山オフセット印刷所

満麺亭

■「学ぶ楽しさを実感できる50分間を共創する

～生徒がワクワクドキドキする授業づくりを目指して～

福山商業高校では、企業と協力することで、生徒自身が想像できない“リアル”から生徒の興味・関心を引き付け、自ら進んで取り組む、商業高校ならではのカリキュラムを開発しています。

生徒スローガン「互いの良さを引き出し合う学校」を生徒だけでなく教職員も実践しています。

